

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	J R 端岡駅周辺整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 34年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市西部地域の主要駅である J R 端岡駅の利便性の向上と交通結節点機能の強化を図るため、駅周辺の整備を行い、駅を核としたまちづくりを住民参加で実施し、地域の活性化を図る。
-------	--

30年度概要	詳細設計（駅南、アクセス道路） 測量業務 事務費
--------	--------------------------------

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	J R 端岡駅利用者
意図（どのような状態にしたいか）	端岡駅周辺整備事業（駅北口広場、駅南口広場、アクセス道路、J R 端岡駅ホーム）を実施することにより、駅利用者の利便性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
関係機関等との協議回数	回		1	8	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	J R 端岡駅周辺整備事業進捗率	%	目標値		25	35	60	60
			実績値		20	25		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 駅北口広場の整備が完了し、南口及びアクセス道路の整備に伴う関係機関との協議を行い路線選定を行った。今後も鉄道事業者や地元関係者との合意形成を整え、事業実施を推進していく。 (目標達成度)							(達成度) 71.4%
								24点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	43,417	37,467	6,152	21,217
（事業費）	[円]	28,677	32,992	1,752	16,817
（職員人件費）	[円]	14,740	4,475	4,400	4,400

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

J R 端岡駅南口へのアクセス道路や駅前広場の位置選定を行った。今後は鉄道事業者や地元関係者との合意形成を整える必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

J R 端岡駅周辺整備基本構想（鉄道事業者との協議を含む）を策定した上で、選定された路線等について、地域住民との合意形成を整え、事業を推進する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	道路整備課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2517
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	国道1号高松東道路関連整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	琴電高架化に伴う側道整備を行い、沿道環境の保全や地域の円滑な交通の確保を図る。		
30年度概要	東山崎町51号線（改良等）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	事業対象施設：市道東山崎町51号線、太田下町21号線 事業対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者、自動車利用者）、道路沿道関係者
意図（どのような状態にしたいか）	沿道利用の促進、歩道整備による歩行者の安全確保及び鉄道（琴電長尾線水田駅）へのアクセス道路として、パーク&ライド、キス&ライド等公共交通利用の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度側道整備延長	m		833	903	1,028	1,098

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
側道整備率	側道整備率	%	目標値		75.88	87.23	93.62	100
			実績値		75.88	82.24		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	概ね目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 94.3%
								33点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	概ね目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	14,499	12,569	22,334	28,346
（事業費）	[千円]	12,964	9,429	19,299	20,000
（職員人件費）	[千円]	1,535	3,140	3,035	8,346

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、約70mの区間の整備を完了した。道路用地は概ね買収済みであり、整備に期間を要すると維持管理費用が増加するため、早期供用開始に向け事業費を拡充する必要がある。県費補助の要望額に対し内示額が低いため、事業費の確保が課題となっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業の早期完了を目指し、県費補助の満額内示について要望していくとともに、整備に関し関係機関との協議を進めていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	地域公共交通再編事業（交通政策課分）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	持続可能な公共交通のネットワークの構築を目指すため、平成22年11月に策定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、26年度に策定した「地域公共交通網形成計画」及び27年度に策定した「地域公共交通再編実施計画」に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業、バス路線網の再編等を推進する。検討に当たっては、学識経験者、交通事業者等で構成される「高松市総合都市交通計画推進協議会」を活用する。
-------	---

30年度概要	地域公共交通再編実施計画策定業務 ネットワークバス維持費補助金（仏生山～川島線）
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。鉄道を基軸として、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを形成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回		3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
施策に関する市民満足度（公共交通の利便性の向上）	%	目標値		21	22	23	23
		実績値		21	18.1		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各種施策・事業の推進を通じた、公共交通の利用に対する機運の醸成等により、「公共交通の利便性の向上」に係る市民満足度については、昨年度に比べ減少し、年度目標値についても達成できなかった。 (目標達成度)			(達成度) 82.3% 28点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
公共交通機関利用率	%	目標値		15.3	15.5	15.7	15.7
		実績値	13.8	14.7	15		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 当該指標は、平成19年度の実績を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を目標として掲げている。前年度実績に比べ、公共交通機関利用者数は、約900人増加し、利用率も0.3%上昇したものの、20年代前半に利用者数が大きく減少したことの影響により、目標値の達成には至らなかった。 (目標達成度)			(達成度) 96.8% 33点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]		7,851	33,252	16,304
（事業費）	[千円]		0	21,871	4,923
（職員人件費）	[千円]		7,851	11,381	11,381

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道を基軸としたバス路線の再編に積極的に取り組んで新たな結節拠点となる新駅整備とバス路線再編についてスピード感をもって実施することが求められており、事業を拡大する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、多様な機能を備えた結節拠点整備と併行し、関係機関との連携によりバス路線再編に向けた計画案を取りまとめる。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2455
	基本事業	目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築		事業実施主体	市
	事務事業	地域公共交通再編事業（都市計画課分）		事業期間	平成28年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要  
 持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指すため、平成22年11月に策定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、26年度に策定した地域公共交通網形成計画及び27年度に策定した地域公共交通再編実施計画に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業、バス路線網の再編等を推進する。検討に当たっては、学識経験者、交通事業者等で構成される「高松市総合都市交通計画推進協議会」を活用する。

30年度概要  
 新駅（三条～太田駅間）駅舎整備事業（負担金） 市のみ  
 本工事費  
 その他

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型
--------	------	----------	----	---------

【事業の目的】

対象（何を） 高松市民  
 意図（どのような状態にしたいか） 既存ストックの有効活用を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回		3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	公共交通機関利用率	%	目標値		15.3	15.5	15.7	15.7
			実績値		14.7	15		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各種施策・事業の推進と併せて、モビリティマネジメント事業等を展開することによって、利用促進に努め、公共交通の利用率向上につなげる。 (目標達成度)							(達成度) 96.8% 33点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		34,088	270,291	1,506,942
（事業費）	[円]		1,114	238,426	1,475,077
（職員人件費）	[円]		32,974	31,865	31,865

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

全ての事業において、詳細設計を完了させた。また、用地取得を進めているものの、一部の関係者が未契約のため、工事に影響がないよう引続き鋭意交渉に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、駅前広場・駅舎整備に事業に必要な用地取得及び駅舎工事を進め、早期完成に向け取り組む。